



平成29年度 学生募集要項 入学案内

これはWeb掲載用ですので、出願書類は添付されておられません

国立 奈良工業高等専門学校

推薦 特別 選抜	出願期間	郵送	平成29年1月6日(金)～13日(金)
		中学校教職員による持参	平成29年1月12日(木),13日(金)(2日間)
	検査日	平成29年1月21日(土)※土曜日です	
	内定発表日	平成29年1月25日(水)	
	入学確約書提出期限	平成29年2月3日(金)	
学力 選抜	出願期間	平成29年2月1日(水)～7日(火)	
	検査日	平成29年2月19日(日)※日曜日です	
	入学確約書提出期限	平成29年3月6日(月)	
合格発表日		平成29年2月23日(木)	

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22番地

TEL 0743-55-6032 (入試係)

FAX 0743-55-6039

HP <http://www.nara-k.ac.jp/>

E-mail nyusi@jim.nara-k.ac.jp

推薦特別選抜 (学科は第2志望まで応募できます)

○推薦特別選抜 A (募集人員の40%程度)

○推薦特別選抜 B (募集人員の10%程度)

学力選抜 (学科は第3志望まで応募できます)

◆入試に関する主な連絡事項

1. 推薦特別選抜の検査日は 1月21日(土) です。
学力選抜の検査日は 2月19日(日) です。
2. 推薦特別選抜の合格内定者の受験番号を1月25日(水) 15時頃に本校ホームページに掲載します。
3. 推薦特別選抜の出願資格に「在外教育施設の修了見込みの者」を追加しました。
4. 学力選抜の解答方法はマークシート方式です。
5. 学力選抜の過去問題と解答の3年間分は、国立高等専門学校機構ホームページの「入試情報NAVI」ページにて公表しています。
http://www.kosen-k.go.jp/kosen_navi/05.html
なお、本校の推薦入試の適性検査問題は公表していません。
6. 中学校等で作成いただく「推薦書」および「調査書」の書き込み可能な電子ファイルを用意しました。
検索サイトにて「奈良高専 募集要項」と検索して「平成29年度 入試日程&学生募集要項-奈良工業高等専門学校」と表示されたページからダウンロードしてください。

平成29年度学生募集要項

奈良工業高等専門学校のアドミッションポリシー

本校には以下のような適性と能力をもった中学生に入学してほしいと考えています。

- (1) 将来に夢を持ち、こつこつと自ら勉強や研究に取り組める人
- (2) 技術者や研究者になりたいという強い意志を持ち、社会に貢献したい人
- (3) 科学・技術分野の好奇心を持ち、国際的にも活躍したい人
- (4) 創造力を生かし、新しいことにチャレンジしたい人

各学科の教育目標

機械工学科

- ・各種機器を開発・設計し、製造するために必要な機械工学の基礎知識・技術・能力を育てます。
- ・計算機を応用した計測制御・電気・電子技術分野など幅広い分野の知識・技術を学びます。
- ・国際社会に必要なコミュニケーション力を持ち社会の発展に貢献できる機械技術者を育てます。

電気工学科

- ・エレクトロニクス、エネルギー、ナノテク新素材、情報通信の各分野の基礎について学びます。
- ・家電、情報通信、電力、鉄道、食品、製薬などの分野で活躍できる電気電子技術を学びます。
- ・新エネルギー、省エネ家電など環境・エネルギー問題の解決に貢献できる知識を学びます。

電子制御工学科

- ・ロボットなどの複雑なシステムを作るために必要な機械・電子回路設計法等を学びます。
- ・ロボットなどの複雑なシステムを正確に動かすために必要な情報・制御技術を学びます。
- ・複雑なシステムであるロボットを実際に設計・製作し、より実践的な技術を学びます。

情報工学科

- ・プログラムの仕組みや作り方のほか、情報をうまく活用する方法を学びます。
- ・コンピュータの仕組みや、最先端技術を活用したコンピュータの作り方を学びます。
- ・インターネットの仕組みやそれを支える技術、ネットを利用した応用例などを学びます。

物質化学工学科

- ・化学や生物およびそれらに関連する工学の基礎知識、実験手法や技術を学びます。
- ・地球環境だけでなく人間社会にも配慮できる倫理観とグローバルな視野を育みます。

(生物化学工学コース)

- ・化学と生物の連携力を高め、限りある資源を活用して生活を支え豊かにできる人材を育てます。

(化学応用工学コース)

- ・化学の応用力を高め、限りある資源を活用して生活を支え豊かにできる人材を育てます。

I 募 集 人 員

学 科	募 集 人 員	備 考
機 械 工 学 科	40名	各学科とも、募集人員の40%程度を推薦特別選抜A、10%程度を推薦特別選抜B（チャレンジ選抜）とします
電 気 工 学 科	40名	
電 子 制 御 工 学 科	40名	
情 報 工 学 科	40名	
物 質 化 学 工 学 科	40名	

II 選 抜 方 法

入学者の選抜は、「**推薦による特別選抜**」と「**学力検査による選抜**」の二つの方法で行います。

推薦による特別選抜

1. 推薦による特別選抜

推薦による特別選抜には、推薦特別選抜Aと推薦特別選抜B（チャレンジ選抜）があり、出願資格が異なります。なお、推薦特別選抜Aと推薦特別選抜B（チャレンジ選抜）を重複して出願することはできません。

2. 推薦による特別選抜入学人員

各学科とも、推薦特別選抜Aは募集人員の40%程度、推薦特別選抜B（チャレンジ選抜）は10%程度を合格者数とします。

3. 出願資格

(1) 推薦特別選抜A

下記の1)～3)の条件を全て満たしている者で、かつ、出身学校長の推薦を受けた者

- 1) 平成29年3月に中学校もしくは義務教育学校を卒業見込みの者、中等教育学校の前期課程を修了見込みの者、または文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- 2) 本校入学の意志が確実で、工業高等専門学校にふさわしい能力・特性を有する者
- 3) 調査書の学習の記録欄（記入方法は調査書裏面を参照してください）の第2学年の評価点合計と第3学年の評価点合計を合算したものが78以上の者

※評価点が基準を満たしていない場合は願書を受理しませんので、注意してください。

また、在外教育施設より出願を希望する場合は、平成29年1月5日（木）までに学生課入試係へ申し出てください。

(2) 推薦特別選抜B (チャレンジ選抜)

下記の1)～4)の条件を全て満たしている者で、かつ、出身学校長の推薦を受けた者

- 1) 平成29年3月に中学校もしくは義務教育学校を卒業見込みの者、中等教育学校の前期課程を修了見込みの者、または文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- 2) 本校入学の意志が確実で、工業高等専門学校にふさわしい能力・特性を有する者
- 3) 調査書の学習の記録欄 (記入方法は調査書裏面を参照してください) の第2学年の評価点合計と第3学年の評価点合計を合算したものが72以上で、かつ、第3学年の数学、理科、英語の評価点がそれぞれ4以上の評価の者
- 4) 中学校在学時に次のいずれか一つ以上の成果を有する者
 - (a) 国、地方公共団体または民間の団体が主催する科学などの分野に関するコンテスト等において優れた成績をおさめた者
 - (b) 課外活動・学外での活動等において優秀な成績をおさめた者、もしくは、3年間課外活動に参加し、特別な功労 (キャプテンなど) があった者
 - (c) 生徒会活動 (生徒会役員など) で顕著な活動を行った者
 - (d) ボランティア活動などで顕著な活動を行った者

※評価点が基準を満たしていない場合は願書を受理しませんので、注意してください。

また、在外教育施設より出願を希望する場合は、平成29年1月5日 (木) までに学生課入試係へ申し出てください。

4. 出願方法および受付期間

(1) 出願方法 **郵送**または**中学校教職員による持参**とします。

(2) [郵送の場合]

受付期間 **平成29年1月6日 (金)～13日 (金) (1月13日 (金) 必着のこと)**

あて先 〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22番地

奈良工業高等専門学校 学生課入試係

(この冊子とじ込みの封筒を使用して、必ず**書留郵便**で送付してください。)

[持参の場合 (中学校でまとめて教職員の方が持参してください。)]

受付期間 **平成29年1月12日 (木) および13日 (金) の2日間**

(上記以外の日は受け付けません。)

受付時間 9時～16時30分

受付場所 奈良県大和郡山市矢田町22番地

奈良工業高等専門学校 学生課入試係

5. 出 願 手 続

- (1) 推薦による特別選抜は、**2学科**まで志望できます。第2志望がない場合は、入学願書の志望学科欄に斜線を引いてください。第2志望を記入した場合、第2志望も選考の対象になります。
合格内定となった場合は、第1志望、第2志望にかかわらず、学力検査による選抜試験は受験できません。
- (2) 合格内定とならなかった場合に学力検査による選抜を希望する者は、「『学力による選抜受験希望』の有無の欄」の「有」に○をして、学力検査志望学科欄に志望学科を記入してください。3学科まで志望できます。推薦による特別選抜と違う学科を志望しても構いません。また検査会場は奈良会場（本校）と大阪会場（大阪教育大学天王寺キャンパス）のどちらかを選んでください。
- (3) 入学志願者は、次の書類等（①～⑦）を整え、とじ込みの封筒を使用して、郵送または中学校を経て提出してください。ただし、中学校教職員による持参の場合「⑤返信用封筒」は不要です。
- (4) 「推薦書」および「調査書」の書き込み可能な電子ファイルを用意しています。
 検索サイトにて「奈良高専 募集要項」と検索して「平成29年度 入試日程&学生募集要項－奈良工業高等専門学校」と表示されたページからダウンロードしてください。

① 入学願書 (推薦特別選抜用)	本校所定の用紙（推薦特別選抜用）に、必要事項を記入してください。
② 推薦書	本校所定の用紙に、出身学校長が作成して、厳封したもの。
③ 調査書 (推薦特別選抜用)	本校所定の用紙（推薦特別選抜用）に、出身学校長が作成して、厳封したもの。
④ 写真票2枚 受験票1枚	出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の写真3枚を写真票2枚と受験票の所定欄に貼り付けてください。（カラー、白黒、どちらでも可）
⑤ 返信用封筒	受験票を送付するためのものですので、とじ込みの封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、速達料（362円）の切手を貼り付けてください。 ただし、中学校教職員による持参にて出願する場合は不要です。
⑥ 入学検定料	16,500円 この冊子の後半にあります「平成29年度 奈良工業高等専門学校 入学検定料 振込依頼書」ページの注意事項を確認のうえ、最寄りの金融機関から下記振込受付期間に振り込み、振込金証明書を願書の裏面に貼付してください。また、願書受理後はいかなる理由があっても入学検定料の返還はできません。 ※ 入学検定料振込受付期間 平成28年12月16日（金）～平成29年1月13日（金）
⑦ あて名票 2枚	合格通知書等を送付するためのものですので、とじ込みのあて名票に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、推薦特別選抜 A、推薦特別選抜 B（チャレンジ選抜）とも、出身学校長から提出された推薦書、調査書、適性試験（数学、理科、英語）および面接（個人）の結果を総合して行います。

（推薦特別選抜 A と推薦特別選抜 B の判定はそれぞれ別々に行います。）

適性試験および面接

- (1) 数学, 理科, 英語の3教科について筆答試験を行います。
- (2) 日時

月 日	時 間	区 分
1月21日(土)	11:00～11:45	適性試験(数学, 理科, 英語)
	12:50～	面 接(個人)

- (3) 会場 **奈良工業高等専門学校**(大和郡山市矢田町22番地) (裏表紙参照)

7. 選抜結果の通知

推薦による特別選抜結果は出身学校長宛に郵送します。(志願者宛には郵送しません。)

また, 推薦による特別選抜の合格内定者の受験番号を平成29年1月25日(水)15時頃に本校ホームページに掲載しますが, 正式な合格内定発表は出身中学校長宛の合格内定通知書によります。

なお, 電話等による問い合わせには一切応じません。

8. 入学確約書の提出

推薦による特別選抜で合格内定となった者(第2志望の学科に合格内定となった者を含む)は必ず本校へ入学しなければなりません。合格内定者は, 本校所定の入学確約書に必要事項を記入し, 出身学校長を経て, 平成29年2月3日(金)までに必ず提出してください。(郵送の場合も2月3日必着のこと。)

9. 推薦による特別選抜で合格内定とならなかった者の学力検査による選抜受験

推薦による特別選抜を志望し合格内定とならなかった者で, あらかじめ入学願書の『学力検査による選抜受験希望』の有無の欄を「有」とした者は, 学力検査による選抜を受けることができます。この場合, 新たな手続(書類の再提出, 検定料の再納付)は一切必要ありません。平成29年2月19日(日)の学力検査を受験してください。なお, 学力検査当日は, 推薦による特別選抜受験時の受験票を持参してください。

10. 合格発表

平成29年2月23日(木)14時 学力検査による選抜の合格発表とあわせて本校に掲示します。発表日当日17時までに受験票と印鑑を持参のうえ来校した合格者には, 合格通知書を交付します。

なお, 来校できなかった合格者には, 合格通知書を郵送します。

合格者の受験番号を15時頃に本校ホームページに掲載しますが, 正式な合格発表は掲示または合格通知書によります。

11. 願書等提出書類記入上の注意事項

- (1) 記入は、黒インクのペンまたは黒ボールペンを使用し、楷書で記入してください。
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了見込みの者は「卒業見込」の欄を「修了見込」と読み替えて記入してください。
- (3) ※印欄は記入しないでください。
- (4) 記載事項を訂正する場合は、二本線で誤記部分を消し、訂正印を押したうえ訂正してください。
消しゴム、修正液等は使用しないでください。
- (5) 提出書類に不備のあるものは受け付けません。また、虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (6) 出願後は、記載事項の変更を一切認めません。

12. その他の注意事項

- (1) 出願書類提出後に住所（受信先）を変更したときは、ただちに学生課入試係へ届け出てください。
- (2) 合格発表に関する問い合わせについては一切応じません。
- (3) 受験の際の宿泊所のあっせんは行いません。

13. 入学手続きおよびオリエンテーションについて

入学予定者について、平成29年3月21日（火）本校で入学手続きおよびオリエンテーションを実施します。本人および保護者は、必ず来校してください。

14. 入学志願者の個人情報について

本校に提出された入学願書・調査書・推薦書に記載されている事項および選抜試験成績の個人情報は、入学者選抜および次の目的以外には使用しません。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学金・授業料の免除および奨学金申請の審査
- (3) 本校および国立高等専門学校機構の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

15. 受験上の特別な措置や修学上の特別な配慮を必要とする場合の事前相談

身体に障害がある場合や疾病、けが等で受験上特別な措置や修学上特別な配慮を必要とする入学者は、事前に本校学生課入試係へご相談ください。

なお、事前相談後、健康診断書等を提出していただく場合がありますので、ご了承ください。

16. 入学試験に関する問い合わせ先

奈良工業高等専門学校 学生課入試係 電話（0743）55－6032

学力検査による選抜

1. 出 願 資 格

- (1) 中学校もしくは義務教育学校または、これに準ずる学校を卒業した者（平成29年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（平成29年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条に該当する者）
※学校教育法施行規則第95条による出願を希望する場合は、平成29年1月19日（木）までに学生課入試係へ申し出てください。

2. 願 書 受 付

- (1) 受付期間 平成29年2月1日（水）～7日（火）（郵送の場合も2月7日（火）必着のこと）
ただし、土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。
- (2) 受付時間 9時～16時30分
- (3) 受付場所 大和郡山市矢田町22番地 奈良工業高等専門学校 学生課入試係

3. 出 願 手 続

入学志願者は、次の書類等（①～⑥）または（①～⑦）をとりまとめ、郵送または持参により提出してください。ただし、持参の場合「④返信用封筒」は不要です。

なお、出願書類を郵送する場合は、とじ込みの封筒を使用して、必ず書留郵便で送付してください。

① 入学願書 (学力検査選抜用)	本校所定の用紙（学力検査選抜用）に、必要事項を記入してください。 学科は、3学科まで志望できます。第2志望、第3志望があれば記入してください。第2志望、第3志望がない場合は、志望学科欄に斜線を引いてください。
② 調査書 (学力検査選抜用)	本校所定の用紙（学力検査選抜用）に、出身学校長が作成して、厳封したもの。
③ 写真票2枚 受験票1枚	出願前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽の写真3枚を写真票2枚と受験票の所定欄に貼り付けてください。（カラー、白黒、どちらでも可）
④ 返信用封筒	受験票を送付するためのものですので、とじ込みの封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、速達料（362円）の切手を貼り付けてください。 ただし、持参にて出願する場合は不要です。
⑤ 入学検定料	16,500円 この冊子の後半にあります「平成29年度 奈良工業高等専門学校 入学検定料 振込依頼書」ページの注意事項を確認のうえ、最寄りの金融機関から下記振込受付期間に振り込み、振込金証明書を願書の裏面に貼付してください。 また、願書受理後はいかなる理由があっても入学検定料の返還はできません。 ※ 入学検定料振込受付期間 平成29年1月16日（月）～2月7日（火）
⑥ あて名票 2枚	合格通知書等を送付するためのものですので、とじ込みのあて名票に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。

（次頁に続く）

⑦ 受験許可書 (様式随意)	現在高等学校に在学中の者は、在学している学校長の受験許可書を添付してください。(様式は問いません。)
-------------------	--

4. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査の成績、出身学校長からの調査書等に基づいて行います。

学 力 検 査

- (1) 学力検査は筆答試験とします。
- (2) 出題する教科は、理科、英語、数学、国語および社会の5教科とします。
- (3) 検査日時

月 日	時 間	教 科
2月19日 (日)	9:30～10:20	理 科
	10:40～11:30	英 語
	11:50～12:40	数 学
	13:30～14:20	国 語
	14:40～15:30	社 会

- (4) 検査会場 (検査会場はいずれかを選択してください。)
(裏表紙参照) 奈良会場 奈良工業高等専門学校 (大和郡山市矢田町22番地)
大阪会場 (近畿地区国立高等専門学校合同学力検査会場)
大阪教育大学天王寺キャンパス (大阪市天王寺区南河堀町4-88)

5. 合 格 発 表

平成29年2月23日(木)14時 本校に掲示します。発表日当日17時までに受験票と印鑑を持参のうえ来校した合格者には、合格通知書を交付します。なお、来校できなかった合格者には合格通知書を郵送します。また、合否結果を中学校長あてに郵送で通知します。

合格者の受験番号を15時頃に本校ホームページに掲載しますが、正式な合格発表は掲示または合格通知書によります。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

6. 入学確約書または入学辞退届の提出

合格者は本校所定の用紙に必要事項を記入し、出身学校長を経て、平成29年3月6日(月)までに必ず提出してください。(郵送の場合も、3月6日(月)までに必着のこと。)

期日までに入学確約書の提出のない者は、入学が認められませんので注意してください。

7. 願書等提出書類記入上の注意事項

- (1) 記入は、黒インクのペンまたは黒ボールペンを使用し、楷書で記入してください。

- (2) 中等教育学校の前期課程を修了または修了見込みの者は「卒業・卒業見込」の欄を「修了・修了見込」と読み替えて記入してください。
- (3) ※印欄は記入しないでください。
- (4) 記載事項を訂正する場合は、二本線で誤記部分を消し、訂正印を押したうえ訂正してください。
消しゴム、修正液等は使用しないでください。
- (5) 提出書類に不備のあるものは受け付けません。また、虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (6) 出願後は、記載事項の変更を一切認めません。

8. その他の注意事項

- (1) 出願書類提出後に住所（受信先）を変更したときは、ただちに学生課入試係へ届け出てください。
- (2) 合格発表に関する問い合わせについては一切応じません。
- (3) 受験の際の宿泊所のあっせんは行いません。

9. 入学手続きおよびオリエンテーションについて

入学予定者について、平成29年3月21日（火）本校で入学手続きおよびオリエンテーションを実施します。本人および保護者は、必ず来校してください。

10. 入学志願者の個人情報について

本校に提出された入学願書・調査書に記載されている事項および選抜試験成績の個人情報は、入学者選抜および次の目的以外には使用しません。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料・授業料の免除および奨学金申請の審査
- (3) 本校および国立高等専門学校機構の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

11. 受験上の特別な措置や修学上の特別な配慮を必要とする場合の事前相談

身体に障害がある場合や疾病、けが等で受験上特別な措置や修学上特別な配慮を必要とする入学者志願者は、事前に学生課入試係へご相談ください。

なお、事前相談後、健康診断書等を提出していただく場合がありますので、ご了承ください。

12. 入学試験に関する問い合わせ先

奈良工業高等専門学校 学生課入試係 電話（0743）55－6032

入 学 案 内

1. 本校の教育理念

本校は、「創造の意欲」「幅広い視野」「自律と友愛」という三つの教育理念より教育を行っています。

2. システム創成工学教育プログラム

近年の技術は、特定の技術分野だけでは造り出す事は出来ず、幅広い知識をもとに、システムとして考えなければなりません。新しいシステム（ハード、ソフトとも）を創成していくためには、多岐にわたった工学基礎能力をベースとし、それぞれが得意とする専門技術を生かし、異なる分野の技術を融合・複合させることが重要となっています。本校では1～3年生までの工学基礎知識ならびに実験等で鍛えた技術をもとに、4・5年生と専攻科1・2年の4年間で、こうした新しいシステムを設計、構築、開発、研究ができる技術者の育成を目標として、全学科、全専攻共通*で「システム創成工学」教育プログラムを設定しています。この「システム創成工学」教育プログラムは日本技術者教育認定機構（JABEE）で平成17年度に認定されました。

「システム創成工学」教育プログラムの学習・教育到達目標

システム創成工学教育プログラムでは、以下のような学習・教育目標によって教育を行っています。

(A) 豊かな人間性 Humanity

- (A-1) ・近隣に存在する古都奈良の豊富な歴史的文化遺産を通して伝統と文化の重要性を理解し、伝承された技術を通して技術の発展の重要性を理解できる。
 - ・芸術・文化などの学習を通じ、他者・他国の立場に立って、その価値観の違いを認めることができる。
- (A-2) ・人類の発展に係わる、社会問題や環境問題を地球的な視野で捉えることができる。
 - ・科学技術が自然や人間に及ぼす影響・効果を考慮でき、技術者としての社会的責任を理解することができる。

(B) 工学の基礎知識 Foundation

- (B-1) ・数学（微積分、線形代数、確率統計、数値解析）と自然科学（物理、化学、生物）の知識や思考力により、工学的諸問題の解決に適用することができる。
- (B-2) ・基礎工学（設計・システム、情報・論理、材料・バイオ、力学、社会技術）の知識を専門工学に応用することができる。
 - ・情報関連機器を駆使し、必要な情報の検索・収集やデータ解析をすることができる。

(C) コミュニケーション能力 Communication

- (C-1) ・日本語による、論理的な記述力を身につけ、技術論文を書くとともに内容について発表・討論することができる。
- (C-2) ・英語で書かれた文献を読解し、情報収集できる。
 - ・英語を用いて技術報告書を書く基礎能力を有する。
 - ・英語を用いて口頭による発表および討論が行える基礎能力を有する。

(D) 新規システムを創成する意欲と能力 Challenge and Creation

- (D-1) ・機械工学、電気工学、電子制御工学、情報工学、物質化学工学（化学工学、生物工学を含む）のいずれかの専門分野に精通し、その分野の技術的動向を把握することができる。
 - ・異なる技術分野（融合・複合）を積極的に学習し、新たなシステムの創成に取り組む意欲と能力を身につけることができる。
- (D-2) ・システムの安全性、品質保証、環境負荷、経済性など実務上の問題を理解することができる。
 - ・与えられた課題について、解決するためのデザイン能力を身につけることができる。
 - ・自主的・継続的に問題解決に向けて学習することができる。
 - ・チームワークにより、定められた条件のもとで、課題を完成させることができる。

※平成29年度専攻科入学生からは専攻科の改組を計画しており、一部学科はプログラムから外れる可能性があります。

詳しくは本校ホームページ等をご覧ください。

3. 所要経費

(平成29年4月入学者納入予定額)

項目	金額 (円)	入学時必要額 (円)	10月納入額 (円)
入 学 料	84,600	84,600	
授 業 料	(年額) 234,600	(前期分) 117,300	(後期分) 117,300
教科書・教具等	約 60,000	約 60,000	
学生会入会金	3,000	3,000	
学生会会費	(年額) 6,800	(前期分) 3,400	(後期分) 3,400
行事等積立金	(年額) 10,000	10,000	
学校災害共済掛金保護者負担金	(年額) 1,520	1,520	
後援会入会金	20,000	20,000	
後援会会費	(年額) 18,000	(前期分) 9,000	(後期分) 9,000
合 計	約 438,520	約 308,820	129,700

※一部改定されることもあります。

注(1) 入学予定者は、平成29年3月7日(火)～21日(火)の間に、入学料を納入していただきます。

なお、一度納入された入学料は返還することができません。

- (2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 授業料(1年生から3年生)については、高等学校等就学支援金制度があり、一定の収入額未満の場合は授業料納入額が助成されます。また、世帯の所得状況によっては授業料の全額が助成される場合があります。

4. 学 寮 [定員142名(内女子寮定員30名)]

学校教育の一環として、学生が集団生活を通して自律と協調の精神を養い、あわせて、相互の友愛を深めることができるよう、学寮が設けられており、教員が宿直して指導にあたっています。

経 費 (平成29年4月予定額)

寄 宿 料	4月	4,800円	入 寮 時 食器等購入費	3,000円	
	10月	4,800円			
管 理 費	月額	6,930円	寮 生 会 費	4月	2,500円
給 食 費	月額平均	約28,000円		10月	3,000円
冷暖房設備更新費	月額	1,000円	貸 布 団 代	年額	13,370円

※一部改定されることもあります。

5. 奨学金制度等

特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、入学料を免除する制度があります。(入学料免除)

経済的事由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、授業料を免除する制度があります。(授業料免除)

学業・人物ともにすぐれ、かつ、経済的理由により修学が困難な学生に対し、学資を貸与する制度があります。(奨学金制度)

6. 卒業生の進路

卒業後は、就職する学生が約5割、専攻科や大学の3年生(一部2年生)へ進学する学生が約5割です。就職は毎年多方面の業種から多くの求人があり、就職率は大手企業を中心にほぼ100%です。

また、進学としては、近畿圏の国公立大学を中心に全国の大学の3年次(一部2年次)に編入学する学生や、続けて奈良高専専攻科に進学する学生がいます。専攻科修了後は大学院への進学が約6割、就職が約4割です。

(1) 卒業生就職先(過去3年)

- | | |
|---------|--|
| (建設) | 朝日工業社, NHKアイテック, 鳳工業, 関電工, 住友電設, 大和ハウス工業, 日揮, LIXIL, 阪神高速技術, 東日本高速道路 |
| (食料品) | 江崎グリコ, サントリー酒類, サントリープロダクツ, サントリーホールディングス, 三和澱粉工業, シオノギ製薬, 日新製糖, 日本たばこ産業, 不二製油, 森永乳業 |
| (繊維) | 旭化成, 河村繊維, 東レ |
| (パルプ・紙) | 王子イメージメディア, ナカバヤシ, 古林紙工 |
| (化学) | 出光興産, 大阪国際石油精製, オリエント化学工業, 花王, カネカ, 牛乳石鹸共進社, 佐藤薬品工業, 三洋化学工業, サンプラスチックス, 住友精化, 積水化学工業, センカ, 第一三共プロファーマ, ダイソー, 大同薬品工業, 武田薬品工業, DICグラフィックス, 東亜合成, 東燃ゼネラル石油, ナリス化粧品, 新田ゼラチン, 日本コルマー, 松本油脂製薬, 三井化学, ロート製薬 |
| (鉄鋼) | 大阪精工, JFEスチール, 日鉄住金精鋼 |
| (金属) | 伊藤金属製作所, 大旺鋼球製造, TANAKAホールディングス, ツジカワ, 三谷伸銅 |
| (機械) | エース設計産業, オーエスジー, 大阪ジャッキ製作所, カシフジ, 小松製作所, 阪村産業, 島津プレジジョンテクノロジー, ダイキン工業, ダイジェット工業, タクマ, 日研工作所, 日鉄住金関西工業, 日本オーチス・エレベータ, 日本ニューマチック工業, 日本ニューロン, 日立造船, ヒラノテクシード, ファナック, フジフレックス, ホソカワミクロン, マルホ発條工業, 山本ビニター |
| (電気機器) | エネゲート, オムロン, GSユアサ, セイリツ工業, 第一精工, 寺崎電気産業, TOWA, 日新電機, パナソニックアプライアンス社, パナソニックAVCネットワークス社, 日立製作所, 富士通, 富士通ゼネラル, 富士電機, フリーダム |
| (輸送用機器) | 本田技研工業 |

(精密機器)	シチズンセイミツ, マツダ
(その他の製造)	イトーキ, ケイミュー, 積水アクアシステム, 凸版印刷, 日本ノボパン工業, パナソニックサイクルテック, 丸商店
(商業)	アマゾンジャパン, 京セラドキュメントソリューションジャパン, キヤノンマーケティングジャパン, ニシオティーアンドエム, 日立空調関西, フィリップスエレクトロニクスジャパン
(運輸)	J R東海, J R西日本, J R貨物
(通信)	N T Tコムウェア, N T Tドコモ, N T Tネオメイト, エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト, ケイ・オプティコム, パナソニックシステムネットワークス, ミライト
(電気・ガス)	エネゲート, 大阪ガス, 関西電力, 中部電力, 東京ガス
(官公庁)	国立印刷局
(サービス)	A N Aベースメンテナンス, N H Kメディアテクノロジー, N T Tデータ, 恩賜財団済生会中和病院, かねでんエンジニアリング, K D D Iエンジニアリング, シャープビジネスコンピュータソフトウェア, 神鋼テクノ, テクノス, トヨタプロダクションエンジニアリング, 奈良民主医療機関連合会, 日信電子サービス, 三菱電機システムサービス, 三菱電機ビルテクノサービス, モラブ阪神工業, リコーテクノシステムズ
(情報関連業)	アイフォーコム, アステック, A G M S, N E Cフィールドディング, N T Tコムソリューション&エンジニアリング, N T Tデータフロンティア, シオノギ分析センター, N H K, ネクスト, 日立産業制御ソリューションズ, ファインディックス, 富士通ミッションクリティカルシステムズ
(調査・コンサルタント)	e B A S E
(その他)	カケンテストセンター, 日本海洋事業

(2) 卒業生進学先 (過去3年)

(国立大学)	東北大学, 山形大学, 群馬大学, 埼玉大学, 千葉大学, 信州大学, 筑波大学, 長岡技術科学大学, お茶の水女子大学, 東京大学, 東京工業大学, 金沢大学, 福井大学, 岐阜大学, 静岡大学, 名古屋大学, 名古屋工業大学, 三重大学, 豊橋技術科学大学, 京都工芸繊維大学, 大阪大学, 神戸大学, 奈良女子大学, 和歌山大学, 島根大学, 岡山大学, 山口大学, 徳島大学, 香川大学, 九州大学, 九州工業大学, 佐賀大学, 琉球大学
(公立大学)	首都大学東京, 大阪市立大学, 大阪府立大学, 兵庫県立大学
(私立大学)	同志社大学, 立命館大学, 京都産業大学, 四天王寺大学, 関西学院大学
(高専専攻科)	奈良工業高等専門学校専攻科, 香川高等専門学校専攻科

7. 平成29年度入学生 各学科授業科目

本校5年間の授業科目は次の表のとおりです。

一般教科の科目は各学科とも共通です。

ただし、「化学」(※1)及び「生物」(※2)は、物質化学工学科のみの必修です。

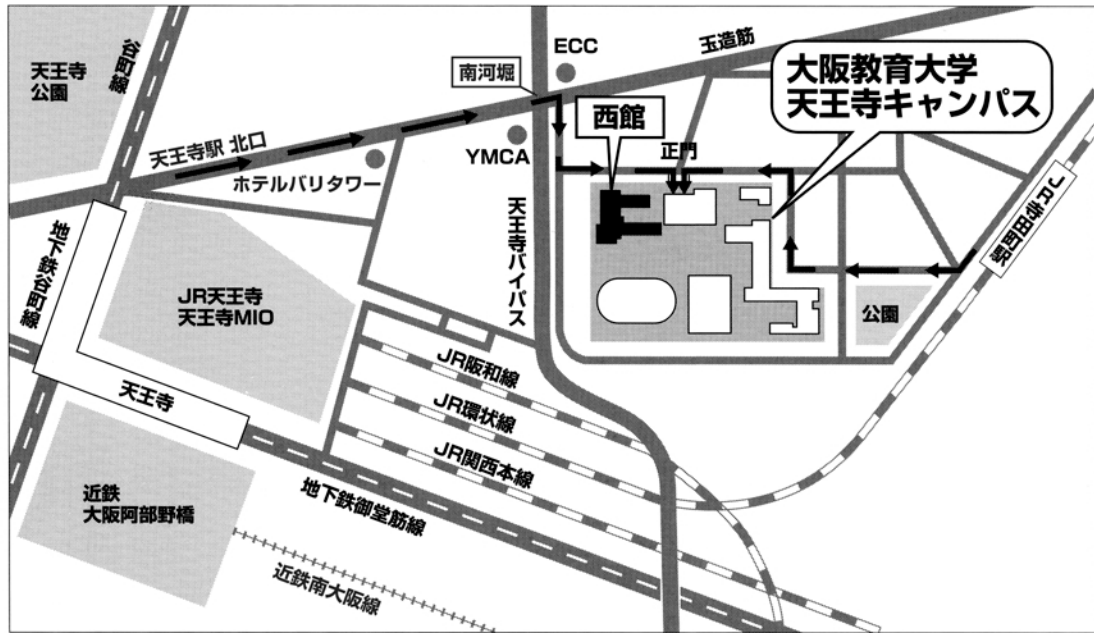
一般教科	機械工学科	電気工学科	電子制御工学科	情報工学科	物質化学工学科
国語 I	応用数学 a	応用数学 a	応用数学 a	応用数学 a	応用数学 a
国語 II	応用数学 β	応用数学 β	応用数学 β	応用数学 β	応用数学 β
国語 III	応用物理 I	応用物理 I	応用物理 I	応用物理 I	応用物理 I
国語表現法	応用物理 II	応用物理 II	応用物理 II	応用物理 II	応用物理 II
地理	機械工学入門	工業外国語	工業数学	情報工学概論	無機化学 I
歴史 I	機械工学演習 I	電気工学演習	工業英語	情報工学概論	無機化学 II
歴史 II	材料学 I	環境リテラシ	情報数学	デジタル回路	有機化学 I
政治・経済	材料学 II	環境工学概論	プログラミング	情報リテラシ	有機化学 II
現代社会と法	機械工作法 I	環境エレクトロニクス	計算機アーキテクチャ	プログラミング I	分析化学 I
数学 a	機械工作法 II	環境エネルギー工学	アルゴリズムとデータ構造	プログラミング II	分析化学 II
数学 β	材料力学 I	電磁気学 I	数値解析	プログラミング III	化学演習 I
微分積分 I	材料力学 II	電磁気学 II	画像工学	論理回路	化学演習 II
微分積分 II	材料力学特論	電磁気学 III	電気回路	コンピュータシステム概論	物理化学 I
代数・幾何 I	エネルギー基礎力学	電磁気学演習	交流理論 I	I T 活用	物理化学 II
代数・幾何 II	流体工学 I	基礎電気回路	交流理論 II	情報数学 I	固体化学
物理 I	流体工学 II	電気回路 I	電磁気学 I	情報数学 II	機器分析
物理 II	熱工学 I	電気回路 II	電磁気学 II	電子回路	化学工学基礎
化学 I	熱工学 II	電気回路 III	電子工学	回路理論	数値解析
化学 II	情報リテラシ	電気回路演習	電子回路	コンピュータアーキテクチャ	物質化学工学演習
化学(※1)	情報処理 I	アナログ回路	計測工学 I	データ構造とアルゴリズム	化学工学 I
生物(※2)	情報処理 II	デジタル回路	計測工学 II	計算機ネットワーク I	化学工学 II
保健・体育 I	数値解析	電力変換回路	制御工学 I	計算機ネットワーク II	基礎製図
保健・体育 II	電気工学	情報リテラシ	制御工学 II	制御工学	工学基礎
保健・体育 III	電子工学	プログラミング	現代制御理論	電磁気学	生物化学
体育実技 I	計測工学	コンピュータハードウェア	ロボティクス	コンピュータ援論設計	情報科学
体育実技 II	制御工学	信号通信理論	材料・加工学	オペレーティングシステム	エレクトロニクス概論
美術	機械設計製図 I	電子工学	材料力学	計算機言語処理	工業外国語 I
音楽	機械設計製図 II	電気電子材料	熱力学	情報理論	工業外国語 II
英語 I	機械設計製図 III	計測工学	基礎製図法	情報セキュリティ	工業外国語 III
英語 II	機構学	電気機器工学	機械工学実習	集積回路	工業外国語 IV
英語 III	設計工学	システム制御工学 I	基礎システム設計	数値計算法	物質科学概論
英語 IV	設計工学演習 I	システム制御工学 II	実践システム設計	データベース	環境化学工学
英文読解 I	設計工学演習 II	電気電子工学入門	応用システム設計	信号処理	プロセス制御
英文読解 II	振動工学	基礎製図	基礎工学実習	ソフトウェア工学	反応工学
英文読解 III	振動工学	電気・電子工学実験 I	電気工学実習	工業外国語	プロセス設計
独語 I	機械工作実習 I	電気・電子工学実験 II	電子制御工学実験 I	情報工学実験 I	物質化学工学実験 I
英語 V a	機械工作実習 II	電気・電子工学実験 III	電子制御工学実験 II	情報工学実験 II	物質化学工学実験 II
英語 V β	創造設計製作	電気・電子工学実験 IV	電子制御工学実験 III	情報工学実験 III	物質化学工学実験 III
英語 V γ	機械工学実験 I	卒業研究	卒業研究	卒業研究	物質化学工学実験 IV
独語 II	機械工学実験 II	学外実習	応用電気工学	卒業研究	卒業研究
人文科学特論	機械工学実験 III	組み込みシステム	応用力学	学外実習	学外実習
社会科学特論	工業外国語	伝送工学	学外実習	情報戦略システム	学外実習
实用英語 I	卒業研究	高電圧工学	光工学	人工知能	学外実習
实用英語 II	学外実習	電力系統工学	情報理論	情報工学実験 I	情報工学実験 I
实用英語 III	工業数学	電気応用工学	環境・エネルギー工学	情報工学実験 II	情報工学実験 II
海外研修 I	エネルギー工学	メカトロニクス	生体工学	情報工学実験 III	情報工学実験 III
海外研修 II	生産システム工学	半導体工学	システム工学	卒業研究	卒業研究
海外研修 III	応用制御工学	電気機器設計	電気電子材料	学外実習	学外実習
海外研修 IV	機械工学演習 II	電気法規・設備工学	応用電気工学演習	情報工学特論	情報工学特論
海外研修 V			応用力学演習		

物質化学工学科は、4年生から「化学応用工学コース」と「生物化学工学コース」の2コースに分かれます。

大阪会場 (学力による選抜試験のみ) ※奈良会場案内は裏表紙にあります。

大阪教育大学天王寺キャンパス 西館

大阪市天王寺区南河堀町 4 - 88



J R 寺田町駅, J R 天王寺駅, 地下鉄天王寺駅下車 徒歩約10分

近鉄大阪阿部野橋駅下車 徒歩約15分

自家用車の乗り入れはできません。公共交通機関の利用をお願いします。

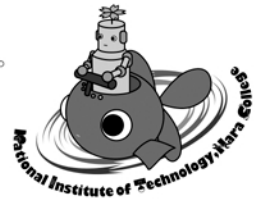




奈良会場

[奈良工業高等専門学校]

※大阪会場案内は
前頁にあります。



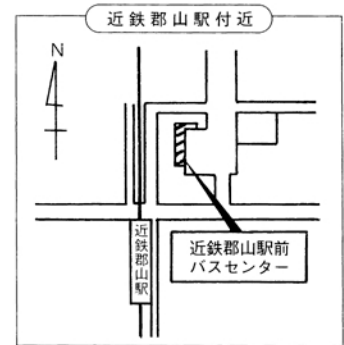
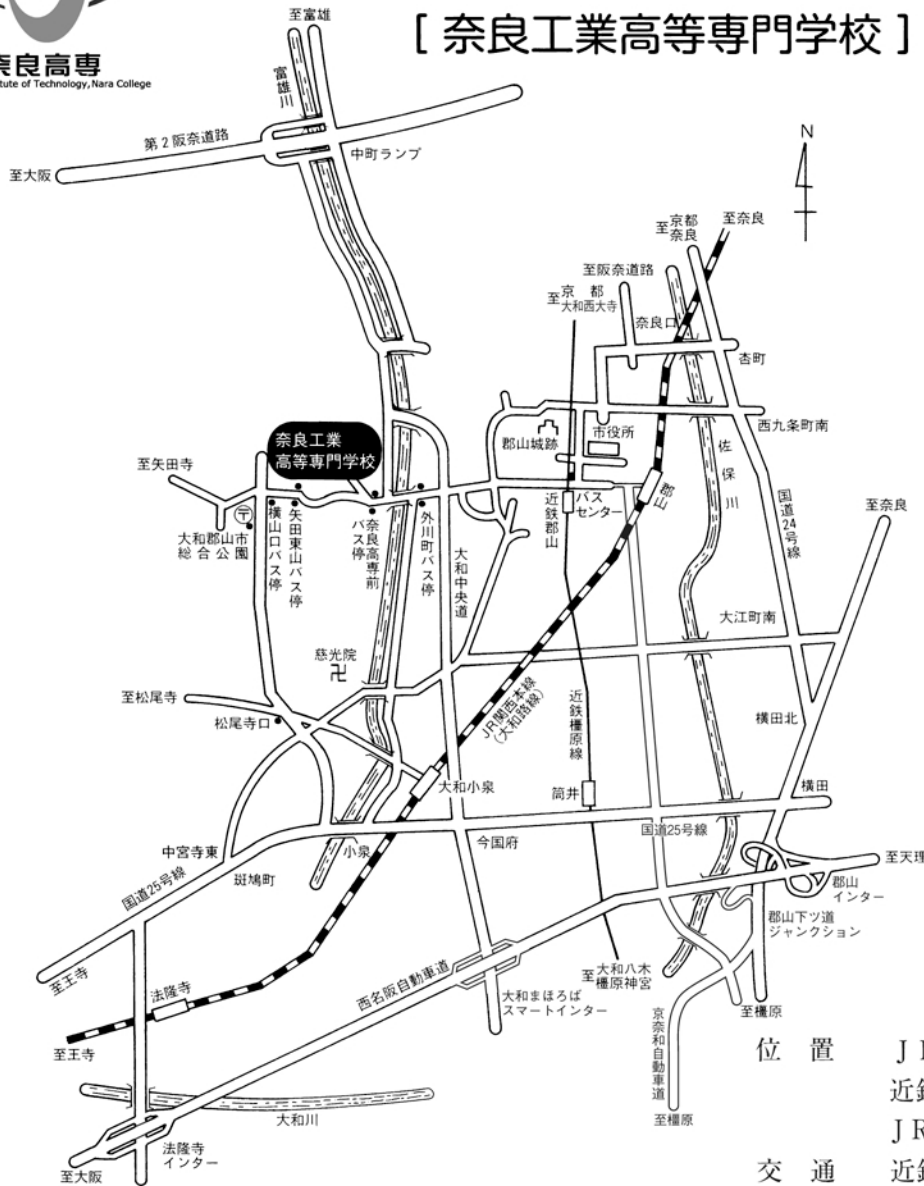
独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校

〒639-1080

大和郡山市矢田町22番地

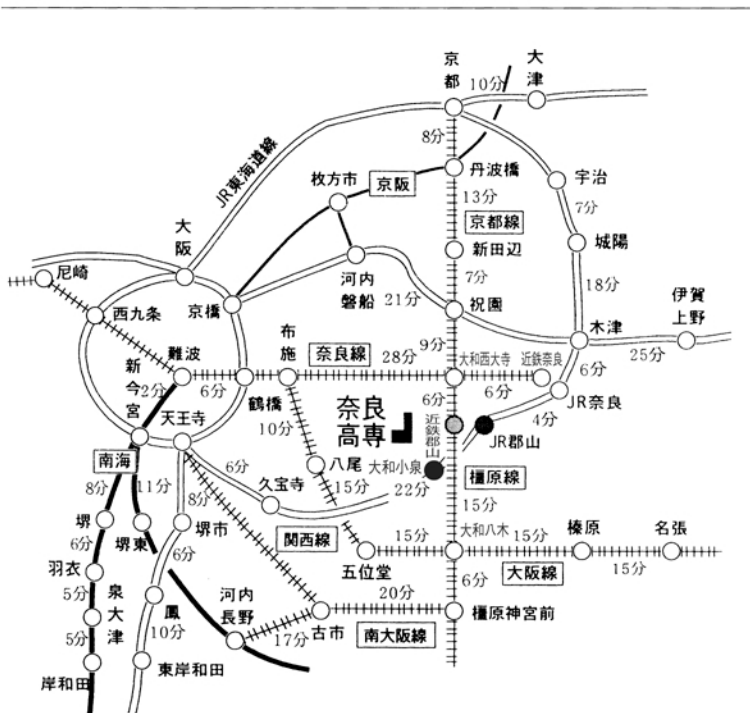
TEL 0743-55-6032

<http://www.nara-k.ac.jp>

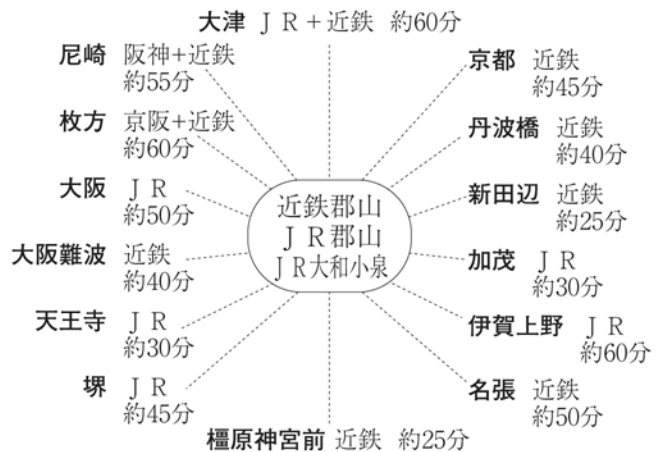


位置 JR 郡山駅より西へ約 2.8 キロ
近鉄郡山駅より西へ約 2 キロ
JR 大和小泉駅より北へ約 3 キロ

交通 近鉄郡山駅前バスセンター 1 番のりば
「小泉駅東口行」「矢田寺行」のバスで
乗車約15分、『奈良高専』下車
JR 大和小泉駅東口 1 番のりば
「近鉄郡山駅行」のバスで乗車約20分
『奈良高専』下車



■京阪奈の主要駅からの所要時間の目安



N A R A K O S E N

